

Day 1	コース構成：雪崩スキル・コースのリスクマネジメント・緊急時の備え（約8時間）
800 1730	<p>コース説明 人間の行動と状況認知 雪崩業務におけるリスクマネジメント 山岳の気象と積雪 気象データの観測と記録（フィールド気象観測のデモ）</p> <p>片付け・明日の説明</p>
Day 2	基礎および演習：気象・積雪の観測と記録（約8時間）
700 800 1730	<p>朝の気象観測 一日の説明 積雪の観察と記録 実務現場での雪崩捜査救助 フィールドツアー（フルスノープロファイルのデモと練習） 積雪の観察と記録－記録の仕方</p> <p>片付け・明日の説明</p>
Day 3	基礎および演習：雪崩現象と発生・雪崩地形（約8時間）
700 800 1730	<p>朝の気象観測 1日の説明 雪崩地形 雪崩の形態と特徴（留意すべき雪崩） 雪崩の観測と記録 フィールドツアー（積雪データの観察と記録） 雪崩捜査救助の試験</p> <p>片付け・明日の説明</p>
Day 4	現場適応：雪崩地形・ハザード評価・業務での観測と記録の実践（約8時間）
700 800 1730	<p>朝の気象観測 雪崩ハザード評価パート1（概念とプロセスの理解） 雪崩業務におけるハザード評価システム 「雪の掲示板」と情報共有の重要性 フィールドツアー（地形認識・雪崩の観測・テストスノープロファイル） 雪崩ハザード評価パート2（情報の選別） 業務ミーティングパート1（PM観測のまとめとリスクの再評価）</p> <p>片付け・明日の説明</p>

Day 5	現場適応：日々の業務計画・リスク評価と対処・コミュニケーション（約8時間）
700	朝の気象観測
800	AM業務ミーティング リスク対応－軽減策 雪崩安全に係るブリーフィング フィールドツアー（地形と移動テクニック・各種観測・スノープロファイル練習） 写真を使った地形解釈と実践 PM 観測のまとめとリスクの再評価
1730	片付け・明日の説明
Day 6	現場適応：日々の業務計画・リスク評価と対処・コミュニケーション（約8時間）
700	朝の気象観測
800	AM業務ミーティング フィールドツアー（地形と移動テクニック・各種観測・スノープロファイル練習） PM 観測のまとめとリスクの再評価 プロフェッショナルへの道
1730	片付け・明日の説明/地形写真練習 / 試験対策
Day 7	現場適応と試験：観察&記録スキル・地形理解とハザード評価（約8時間）
700	朝の気象観測
800	AM 朝の業務ミーティング フィールドツアー（地形移動・各種観察・フィールドでのハザード評価の試験） （フィールドでの気象観測の試験） 気象観測（試験） 地形写真（試験）
1730	片付け・明日の説明
Day 8	試験とまとめ：コース総評（約6時間）
800	フィールドツアー（フルスノープロファイルの試験） 筆記（試験）
1300	コースのまとめ
1400	解散

●注意●これは雪崩業務従事者レベル1の一般的なコース概要です。開催地の気象や諸条件で日々の予定は、その都度、修正や変更があります。受講生は、室内野外を問わず、事前にしっかり準備し、柔軟に対応できるようにしてください。